



ペリー ジョンソン ラボラトリー アクレディテーション インク  
審査見積依頼書  
(極 秘)

【メールでの送付先】 [eigyo@pjla.jp](mailto:eigyo@pjla.jp) (PJLA 営業担当宛)にお送りください

ご記入日: 20××年×月×日

お役職: 分析部長

ご氏名/署名: 認定 太郎 /

## 申請依頼者情報

### 1. 認定を受ける適合性評価機関(CAB)に関する情報

(本セクションに記入される名称や所在地がPJLA 登録者リストなどに掲載されます。)

名 称

株式会社〇〇 〇〇試験所 ※ 審査対象となる適合性評価機関(CAB)

英語名称

〇〇Co. Ltd. 〇〇laboratory

所在地 〒152-××××

東京都渋谷区広尾1-×-××

※上記に加えて認定範囲となる所在地がある場合、別途資料をご提示ください

電話番号:

03-××××-××××

ファックス:

03-××××-××××

ホームページアドレス:

<http://www.〇〇〇〇.co.jp>

### 2. 親会社情報(該当する場合のみ)こちらは省略いただいてもかまいません、次ページをご確認ください。

### 3. 認定を受ける適合性評価機関(CAB)の申請者代表(管理職以上)

氏 名

認定 太郎

役 職

試験所長

電話番号:

03-××××-××××

ファックス:

03-××××-××××

E-メール:

〇〇〇@〇〇.jp

### 4. 担当者(PJLA との窓口)

氏 名

審査 二郎

役 職

分析部長

電話番号:

03-××××-××××

ファックス:

03-××××-××××

E-メール:

〇〇〇@〇〇.jp

### 5. 認定を受ける審査対象範囲に所属する従業員数(貴社全従業員数ではありません) \_\_10\_\_ 名

その内試験・校正業務に直接関わる資格  
又は任命された従業員数 \_\_5\_\_ 名

その他何らかの専門職又は管理職に  
該当する従業員数 \_\_3\_\_ 名

その他事務職の従業員数(含営業)  
\_\_2\_\_ 名

#### a. 貴施設外で試験/校正サービスを行う従業員数

\_\_0\_\_ 名

(出張によるサンプリング等を認定範囲に含める場合のみ、該当の従業員数をご記入ください)

貴施設外で活動が行われている場合、メイン施設からのおおよその距離をご記入ください。 \_\_ km

#### b. 従業員が試験/校正サービスを行うシフト数

\_\_1\_\_ シフト

#### c. PJLA の審査対象となるサイト数 (認定対象の適合性評価機関(CAB)の数)

\_\_1\_\_ サイト



# ISO/IEC 17025:2017 校正分野-申請付属書

貴校正施設又は校正機関のご希望の認定範囲について、できる限り詳しくご記入ください。記入いただく情報により、貴社の品質システムの実地審査に必要な日数をより正確に決定することができますので、スペースが足りない場合は別紙を使用の上、添付くださいますようお願いいたします。必要に応じて、PL-4「校正の認定範囲」(ホームページ内”関連文書ダウンロード”ページよりご入手可)を参照の上ご記入ください。

校正分野	計量する 機器 または ゲージ	範囲 (及び仕様)	不確かさとして表 現された最高校正 精度 (+/-) %等	使用する 規格、参照標準 機器及び校正 方法	校正の 種類
※下記「校正分野」より、該当の分野をご記入下さい	校正の対象計量機器、計測機器の名称などをご記入下さい	校正するために所有している参照標準、標準物質等の校正可能範囲と分解能(最小校正値等)についてご記入ください	校正するために所有している参照標準、標準物質等の校正測定能力(CMC)を記載してください。 一般的に $2\kappa = xx$ (単位)で記されます。	使用している参照標準機器名、標準物質名、校正方法の規格又は方法について記載してください。	※複数選択可 注記参照 該当するものにチェックしてください。
【記入例】  電氣的校正	デジタル直流電圧計 デジタル交流電圧計	××V～××V  (レンジ・発生範囲・分解能)	(左記レンジ・発生範囲毎の最高校正精度を記入してください。)	デジタルマルチメーター (詳細名、仕様) 校正方法 ISO/IECXXXX に準拠	<input checked="" type="checkbox"/> 試験所 <input type="checkbox"/> 客先
					<input type="checkbox"/> 試験所 <input type="checkbox"/> 客先

認定審査は上記の条件で実施致します。ご変更の場合はPJLAまでご連絡下さい

※校正分野

- ☒ 電氣的校正＝電圧、電流、抵抗
- ☐ 寸法的校正＝ブロックゲージ、ノギス、マイクロメーター等
- ☐ 時間的校正＝ストップウォッチ、周波数系
- ☐ 音響的校正＝音源、振動
- ☐ 質量的校正＝天秤、分銅
- ☐ 温度的校正＝温度計、熱電対温度計、相対湿度計
- ☐ 化学的校正＝PH計、伝導計、分光光度計、ガスクロマトグラフ、リキッドクロマトグラフ
- ☐ 機械的校正＝硬度試験機、風力計、トルク計、流量計、色彩・輝度計、光沢計、圧力ゲージ等

<注記>

- このセクションでの正確かつ完全な情報は、PJLAよりご提供するサービスに対する最的確なお見積をご提示する際に必要なものとなります。
- 試験所：認定を申請している施設内で行われている校正の場合
- 客先：顧客の施設内で行われている校正の場合

-社内校正（認定を求めている、または求めない組織のための校正）：

自社内で校正を行っており、校正および/または試験結果のトレーサビリティに直接影響する校正となります（PL-2「トレーサビリティの方針」参照←ホームページ内”関連文書ダウンロード”ページよりご入手可）。このセクションは、自社内で校正を行っている校正機関および認定を受けている試験機関の機器の校正を行っている機関の両方が該当します。

下記の表に、認定をご希望の校正または試験を実施する目的で貴社が行っている自社内の校正について詳しくご記入ください。定義によって、これらの校正は外部に対しては認定されていないものとなります。ご記入内容から、貴社施設を審査する際に必要な日数をより正確に決定することができますので、スペースが足りない場合は別紙を使用の上、添付くださいますようお願いいたします。

校正分野 (※下記参照)	計量する機器 またはゲージ	範囲 (及び仕様)	不確かさとして表現 された最高校正精度 (+/-) %等	使用する 規格、参照標準機器及 び校正方法
【記入例】 電氣的校正	デジタル直流電圧計 デジタル交流電圧計	レンジ・発生範囲・ 分解能	左記レンジ・発生範囲毎 の最高校正精度を 記入してください。	デジタルマルチ メーター 校正方法 ISO/IEC X XXXX に 準拠

# ISO/IEC 17025:2017 試験分野-申請付属書

貴試験施設又は試験機関のご希望の認定範囲について、できる限り詳しくご記入ください。記入いただく情報により、貴社の品質システムの実地審査に必要な日数をより正確に決定することができますので、スペースが足りない場合は別紙を使用の上、添付くださいますようお願いいたします。

試験分野	試験・ 測定の対象	試験の内容または 測定する属性	適用される分析機 器の仕様、分析 基準または方法	範囲及び 検出限界	試験装置を 検証した場所
下記「試験分野」より、該当の分野を選んでご記入ください。	試験を行う対象物質、製品、材料等について詳しく記載してください。	実施される試験の内容(残留農薬試験、曲げ試験、環境試験、放射線試験)等と試験によって得られる結果の内容(農薬の種類、高温保存、γ線核種等)について詳しく記載してください。	使用する測定機器及び試験の規格、試験方法等について詳しく記載してください。	試験の結果の範囲及び定量下限値、器量下限値、告示されている規定値等について記載してください。	※複数選択可 注記参照  貴社の試験について該当するものにチェックしてください。
<b>【記入例】</b>  化学的試験	農産物種類 野菜、果実、穀物 及び牛乳	農薬類 1. ヘプタクロル 2. . . . .	GC/MS-MS(台数)  農薬等の一斉試験法 (農産物)	測定範囲 0.1mg/l 検出限界 0.01mg/l	<input checked="" type="checkbox"/> 試験所 <input type="checkbox"/> 客先
					<input type="checkbox"/> 試験所 <input type="checkbox"/> 客先

認定審査は上記の条件で実施致します。ご変更の場合は PJLA までご連絡下さい

## ※試験分野

- ☐ 機械的試験＝機器、部品の物理的特性試験、構成要素の総合評価試験、信頼性を含む耐久性試験
- ☐ 微生物学的試験＝微生物の計数及び同定、一般生菌・大腸菌群やカビ・酵母菌等微生物培養試験及び同定試験
- ☐ 光学的試験＝日射計、積分球、照度計、輝度計等を使用した試験
- ☐ 熱力学的試験＝熱性試験、耐火性能試験、保管槽・温度槽試験、発火試験、バイタルシュミレーション試験  
温度・湿度センサー試験、保管環境試験
- ☒ 化学的試験＝食品・原料中の残留農薬、金属、ビタミン等の定量試験、水・土壌・大気中の化学物質・金属等の定量試験、RoHS 指令に基づく有害物質定量分析試験
- ☐ 生物的試験＝生物学的、生化学的試験と測定、免疫学的試験、DNA 判定による試験
- ☐ 電気的試験＝電気・電子工学的性質・特性・解析試験
- ☐ 寸法的試験＝寸法・重量等の規模を確定するためのパラメーター測定試験
- ☐ 非破壊試験＝材料・構成要素にダメージを与えずに不連続性を検出する試験
- ☐ 環境的試験＝高温保存。高低温サイクル試験、高湿サイクル試験、高低温保存試験、耐風圧試験、水密性試験、機密性試験、断熱性試験、耐火性能試験等
- ☐ 音響的試験＝無響音室性能試験、騒音試験

## <注記>

- このセクションでの正確かつ完全な情報は、PJLA よりご提供するサービスに対する最的確なお見積をご提示する際に必要なものとなります。
- 試験所：認定を申請している施設内で行われている試験の場合
- 客先：顧客の施設内で行われている試験の場合